



やらまいか

クラブテーマ：みんな仲良く!地域に、地球に奉仕しよう!

会長/林 博宣 幹事/小田伊佐浩 会報委員会/青谷友章・大仁孝泰 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP : <http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第25回 通算1664回 2022年3月1日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	2/15 修正出席率
		72名	39名	62.9%	63.5%

ゲスト：豊川市都市整備部公園緑地課 課長 川嶋啓充さん 同 課長補佐 松原太郎さん

★会長あいさつ

林 博宣会長



こんにちは。今日から3月です。
先週の例会で、2月23日は富士山の日とお話をさせて頂きましたが、大事なことを忘れてお

りました。2月23日にロータリーの創立記念日でした。皆さん覚えて頂きたいと思います。

そして、2月は平和構築と紛争予防月間でした。ロシア軍によりますますウクライナへの軍事侵攻は、許されるものではなく、早期撤退と平和解決を望むとともに、よそへ飛び火しないことを切に願っています。

新型コロナは、愛知県そして豊川市においても新規感染者数が下げ止まっており、まん延防止措置の期間が延期されるようです。私たちの業界は、延び延びとなっているGoToトラベルの4月からの再開はもう少し先になりそうです。

本年度のクラブ戦略委員会事業で、市内の6高校にカーボンゼロ・プロジェクトの実施を依頼しました。今月に各学校で植樹式を行い、3月29日の例会で報告してもらいます。

本日の例会は、社会奉仕委員会の担当例会です。田中委員長よろしくお願ひします。昨日、豊川市役所裏の豊川公園を少し歩いてみました。今回の公園整備は、障害を持った子どもたちも楽しめる公園だと聞いています。本日のお話をお伺いしたいと思います。

★幹事報告

小田伊佐浩幹事

例会臨時変更のお知らせ
まん延防止措置の延期に伴うハイブリット例会への移行について
ガバナー月信3月号の内容について

★委員会報告

雑誌広報委員会 早川喬俊委員長 (Zoomで報告)
ロータリーの友3月号の紹介
親睦活動委員会 加藤雅美委員長
花見例会の開催のご案内

★社会奉仕委員会担当例会

委員長あいさつ

田中健司委員長



こんにちは。本日は社会奉仕委員会の担当例会です。
カーボンゼロ、コロナゼロを目指すロータリーで、地区から植樹の依

頼がありました。当初は豊川公園への植樹を考えていましたが、植樹時期の問題で植樹は行わなくなりました。その際に、豊川公園の整備がされて、新しく生まれ変わるということを知りました。担当の公園緑地課の川嶋課長さんと松原課長補佐さんにお越し頂き、お話をさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

卓話「豊川公園の再整備について」

豊川市都市整備部公園緑地課

課長 川嶋啓充さん

課長補佐 松原太郎さん



皆さん、こんにちは。豊川市の豊川公園は、昭和25年に都市計画決定された豊川市でも最も古い公園です。豊川公園整備は市のマニフェスト事業にもなっています。現在、テニスコートをはじめとして整備を進めています。その内容と赤塚山公園の整備内容についても紹介させていただきます。

本日の内容は、豊川公園の整備に至る経緯などお話をさせていただきます。①豊川公園の経緯・歴史について。②豊川公園の施設の再配置について。③令和5年度までの整備内容について。④赤塚山公園の開園30周年について。最後に今後の予定についてお話をさせていただきます。

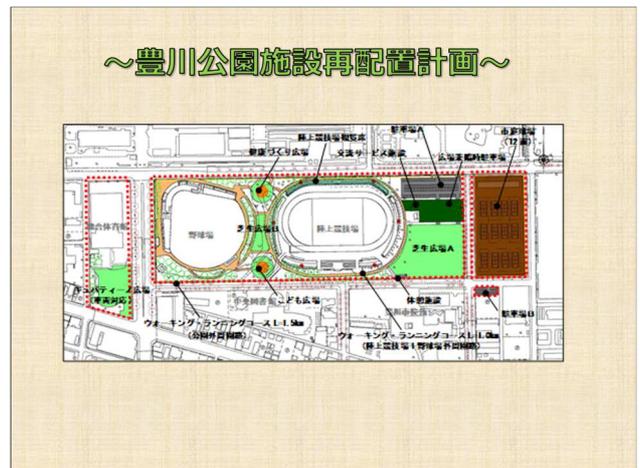
豊川公園は、市の中心部に位置する陸上競技場などの施設がある運動公園です。平成31年の夏を最後に市のプールが廃止となりました。これに伴いまして、市プール跡地を含めて、豊川公園全体について検討を行いました。施設の再配置の計画によりまして現在整備を進めています。

豊川公園の経緯と歴史について説明します。



昭和25年に豊川市で初めて都市計画決定がされた面積が約12.6haある大きな運動公園です。昭和20年代の後半から昭和40年代にかけて、庭球場、野球場、陸上競技場、体育館、プールが順次整備されました。平成2年に総合体育館の建て替え、平成5年に野球場のスタンド整備、平成11年に中央図書館の建設、平成24年に陸上競技場の第3種公認の整備、平成31年に市プールの廃止となりました。

こちらの公園の利用状況は、日常では野球や陸上競技、サッカーなどのスポーツ利用があります。5月においでん祭があります。以前は手筒まつりのメイン会場になっていました。6月にはリレーマラソン、11月にはシティマラソンが開催されるなど、大きなイベントでも利用がされています。



豊川公園の施設の再配置について説明します。施設の再配置を検討するうえでの課題は、豊川公園には複数のスポーツ施設があります。豊川市の中心市街地に位置するので、おいでん祭やリレーマラソンのメイン会場にもなっているので、市にとっては中核となる交流の空間として、市の活性化についても重要な役割があります。このような背景から、課題としては豊川公園での賑わいの創出すること。市中心部に位置する公園として更なる利活用を図ること。中小規模のイベントを行う環境が整っていないこと。体育館前のキュパティーノ広場をより使いやすくすること。プール跡地の活用。駐車場不足などが課題です。

施設の再配置の計画は、市プール跡地をテニスコートにします。不足している駐車場を中央に近づけることにより、公園を利用する方々の利便性に配慮をしています。多目的な芝生広場を臨時駐車場として利用可能にすることで、現在の駐車台数の2倍の容量になります。

多目的な芝生広場は、イベントへの対応を想定し

ていまして、公園がより一層賑わっていくように考えています。

最近の健康志向のニーズに多い、ウォーキング、ランニングに対しては、1.5キロのコースと1キロのコース、600メートルの3つのウォーキング・ランニングコースを設置します。

プールの南側にあった児童遊園を図書館前の人通りの多い場所に子ども広場として移設を行います。

体育館前のキャパティの広場は、車両対応化を行います。

このように豊川公園は、さらに公園を利活用して頂きまして、賑わいの創出をして魅力ある公園として再整備を行います。

庭球場は、プール跡地に現在の8面の土のコートから、4面増やして、12面の砂入り人工芝のコートに整備します。場内は3つのエリアにそれぞれ4面ずつ配置します。クラブハウスを新たに設けます。このクラブハウスの中には、トイレ、更衣室、倉庫があり、屋上には看板スペースを設けます。テニスコートの工事は令和3年度、4年度で整備して、1年後には完成する予定です。



子ども広場は、市の中心部にあり、図書館が隣接するので、多くの人々に利用される環境にあり、最近では公園のバリアフリー化についてのニーズが高まっていることを踏まえて、個人の特性や背景に関わらず、誰もが楽しめることを考えて、インクルーシブな広場として整備をしています。インクルーシブという言葉は、教育の現場でも使われることが多くあります。公園の分野の中でも普及し始めています。個人の状況に関わらず、全ての子どもがみんな一緒に遊ぶことが出来る公園という概念です。現在は工事中で、間もなく完成します。遊具を5基設置しています。これらの遊具は、ユニバーサルデザインの考えのもと、設計がされています。車椅子でも利用できる遊具などあります。段差をな

くしたバリアフリーにしており、地面も柔らかいゴムチップの舗装を行っています。障害のある方も含め、体の弱い方も利用することが出来る優先駐車場を設けるなど、誰もが楽しめる公園を目指して整備をしています。これらの整備には、障がい者団体の意見を取り入れて設計をしています。令和4年3月、間もなく完成します。



ウォーキング・ランニングコースは、街中で豊川公園の様に自然の中で木々が生き茂って、所々木の根があったり、石があったりする土を中心とした路面の状況を不整地と言います。これは貴重な存在ですので、自然な状態を生かしたコースとして、設定をしています。普段からアスファルトなどの硬い路面で歩いたり走ったりしている人にとっては、このような不整地は普段使わない筋肉を使いますので、体感やバランス感覚が鍛えられて、体をほぐす効果もあると言われています。さらに、豊川公園の様に自然の中で木陰があるコースでは、夏場でも比較的気持ちよく走れて、精神的にもリフレッシュすることができます。

コースは、陸上競技場の周りの600mと1000mは陸上競技場と野球場を一周するコース、公園全体でテニスコートを含めて1周する1500mのコースを設定しています。1000mのコースは、現地の状況に応じて、7つのゾーンの設定をしてあります。校庭ゾーン、ペースチェックゾーン、森林ゾーン、まちなかゾーン、ケヤキ並木ゾーン、トレイルランニングゾーン、森林ゾーンがあります。コース上には、100mごとの距離表示を設置しています。コースのコンセプトは、以前から豊川公園を練習で使っている豊川工科高校の陸上部の皆さんにヒアリングを行って、意見を取り入れて、この考え方に賛同して頂いて設計をしています。陸上競技場の北側のゴムチップ舗装は、緑色の舗装が現在されています。これはランニング用に開発された舗装で、箱根駅伝

で有名な青山学院大学のキャンパスでも採用されているものです。この舗装を外周の1500mにも採用する予定となっています。600mと1000mのコースは、令和3年度中に完成します。外周の1500mのコースは、令和5年度に行う予定となっています。

体育館前のキュパティノー広場は、おいでん祭などのイベントで使用して頂いております。現在は、車を考慮していない路面の構造です。イベントの場合、パネルなどを引いて養生をして使うので、ご不便をおかけしています。この広場に車両の乗り入れを可能とするようにします。また、信号交差点に歩行者用の出入り口を新たに設けます。開放的なイメージと広場へのアクセスを向上させ、より多くのイベントで使いやすくする改修を令和4年度に行います。

赤塚山公園の整備について紹介させていただきます。赤塚山公園は、平成5年の市制50周年を記念して開園しました。令和5年の市制80周年には、開園30周年を迎えます。赤塚山公園再生基本計画のコンセプトとして「世代を超えて繋がる 豊川のシンボルパーク」を目指して、整備を進めています。



ぎょぎょランド周辺の整備は、水の広場は子どもたちの遊び場として大変人気があります。現在の雰囲気を継承しながら、噴水施設を新設したり、日陰のある休憩スペース、芝生広場の使い勝手を良くするなど、遊びや快適性を充実させる整備を行います。

動物園のアニアニまあるは、ポニーの散歩広場の整備を行うなど、動物とのふれあいを充実できるようにしていきます。

水の広場とアニアニまあるの間にある芝生のスペースは、新しく飲食店と休憩スペースを設けます。木造の建物が、飲食、物販、休憩施設になります。テイクアウトの食材を中心に、利用者の方々に提供させていただきます。この芝生広場を使って、キッチンカーなどを入れて、イベントを開催することができ

ます。



昆虫の森・大型遊具については、宮池エリアの芝生広場に設置します。利用者のアンケートで、子どもたちの遊び場や遊具を増やしてほしいという声が多くありました。公園としての遊びの機能を充実させ、更に利用をして頂くために大型の遊具を設置していきます。公園利用者の意見も参考にしながら、選定を行っています。滑り台やトランポリンなど、遊びの要素が豊富にあり、日陰のある休憩スペースがあったり、幅広い年齢層に対応したオリジナリティのある大型遊具を令和4年度に設置をします。

豊川公園と赤塚山公園の今後の予定について説明します。令和3年度は、豊川公園の子ども広場とウォーキング・ランニングコースが完成します。令和4年度は、豊川公園の庭球場とキュパティノー広場、赤塚山公園の一連の整備が完成します。市制80周年を迎える令和5年度は、豊川公園の駐車場、広場、外周コースが完成します。

このように暮らしやすさ第一豊川市、活力みなぎる元気な街、市民が文化とスポーツに親しむ場づくりを目指して、豊川公園と赤塚山公園の整備を進めて参りますので、皆様も完成後には是非、公園に足を運んで頂きまして、市内外のお知り合いの方にもご紹介して頂き、公園をより一層使って頂ければと思っております。どうぞ宜しくお願いします。ご清聴ありがとうございました。

★ニコニコボックス

寺部良洋会員 誕生日を祝って頂き

廣田 篤会員 事業所創業を祝って頂き

会報担当：青谷友章・大仁孝泰